

小豆崎地区計画【チェックシート】

受付年度		受付番号		氏名又は名称	
------	--	------	--	--------	--

1. 添付図書のチェックリスト

行為の種類	図面	備 考	届者	市	
①土地の区画形質の変更	区 域 図	区域及び周辺の表示	(1/1,000以上)		
		平面計画図	(1/100以上)		
	設 計 図	断面図	(1/100以上)		
		構造図	(1/100以上)		
②建築物の建築 (建築、増築、改築、移転) □ 用途の変更 □ 形態意匠の変更	位 置 図	敷地の位置の表示	(1/2,500以上)		
	配 置 図	敷地内の施設の配置	(1/100以上)		
	平 面 図	各階平面図	(1/100以上)		
	立 面 図	各面 (※2面以上着色)	(1/100以上)		
	求 積 図	敷地面積、建築面積、 延べ面積	(1/100以上)		
③工作物等の建設 (広告物、看板類、かき、棚、 擁壁、フェンス、植栽、花壇 等) □ 用途の変更 □ 形態意匠の変更	位 置 図	敷地の位置の表示	(1/2,500以上)		
	配 置 図	敷地内の施設の配置	(1/100以上)		
	立 面 図	異なる面ごとに着色 ※工作物、植栽、花壇等を記入 ※地盤面からの高さを記入	(1/100程度)		
	断 面 図	擁壁等 [随時]	(1/20程度)		

<記入上の注意>

- (1) 届け出る行為に該当する項目の「届者」欄に○印を付けると共に、「チェック内容」欄に必要な事項を記入してください。
- (2) 太線の枠内は記入しないでください。

※1 敷地地盤面より高さ2.0m以下の見付面積となる部分の開口率が50%以上の透視可能な構造とする。
 ※2 敷地の形質の変更については、敷地境界部の擁壁等の築造は除くものとする。

2. 届出内容のチェックリスト

項 目	チェック内容	届者	市	
①用途	用途は適合するか:用途	適・不適		
	併用部分は適合するか:用途 併用部分/全体床面積=	m ² % ≤50%	適・不適	
	付属家は適合するか:用途	m ²	適・不適	
②建築物の容積率の最高限度	容積率は80%以下か: 延べ面積 m ² /敷地面積 m ² ≤80%	%	適・不適	
③建築物の建蔽率の最高限度 《角地緩和:あり・なし》	建蔽率は《50%・60%》以下か 建築面積 m ² /敷地面積 m ² ≤《50・60》%	%	適・不適	
④敷地面積の最低限度	敷地面積は200m ² 以上あるか:	m ²	適・不適	
⑤壁面の位置の制限	建築物の道路境界ならびに隣地境界の距離は1m以上か	m	適・不適	
	上 記	外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計は3m以下か:	m	適・不適
	適 用	物置は軒の高さが2.3m以下で、かつ、床面積の合計が5m ² 以下か:	m ² m ²	適・不適
	外	自動車車庫等で高い開放性を有するものか		適・不適
⑥建築物の高さの最高限度	建築物の高さは10m以下か:	m	適・不適	
⑦建築物の形態又は 意匠の制限	擁壁等は景観に留意された構造・仕上げか: (自然石、化粧ブロック等)		適・不適	
	擁壁は張り出し形状となっていないか:		適・不適	
	建築物等の色は、地区環境と調和のとれた自然で落ち着いたものか:		適・不適	
	広告物・看板名は、刺激的な色彩又は装飾を使用していないか:		適・不適	
	造成完了時における敷地の形質の変更を行うか: (※2)	Yes・No		
行の上 う変記 場更形 合を質	車庫の設置・作庭に伴う軽微なものであ るか:(に伴うもの) ▶ Yes・No 人や車の出入りのためのものであるか: ▶ Yes・No		適・不適	
⑧垣又はさくの構造の制限	敷地境界に面する垣又はさくを設置する場合、次に掲げる内容になっているか: 1 生け垣 2 敷地地盤面からの高さが2m以下のフェンス等で、高さ0.7m以上の部分は透視可能な構造のもの(※1)	適・不適		